

提案書評価基準

1 評価基準

表 1 の評価項目及び重みづけのもと、評価を行う。

各評価項目の評価の視点は表 2 のとおりとする。

表 1 評価事項

評価項目 (配点)	評価の着目点		配点	評価	評価の 換算式	評価点
業務実施体制 (10 点)	業務実施体制が整っているか		10			
提案内容 (60 点)	ア 発信内容について	業務内容を的確に理解しているか	10			
		実現性の高い提案であるか	10			
		専門知識や独自の発想・視点を持った提案か	10			
	イ 効果的な展示手法について	業務内容を的確に理解しているか	10			
		実現性の高い提案であるか	10			
		専門知識や独自の発想・視点を持った提案か	10			
ヒアリング (10 点)	取組意欲について		10			
ワーク・ライフ・バランスに関する取組 (6 点)	企業として、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいるかどうか。 □次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 101 人未満の場合のみ加算） □女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 101 人未満のみ加算） □次世代育成支援対策推進法による認定の取得（くるみんマーク）、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定の取得、又は、よこはまグッドバランス企業認定（よこはまグッドバランス賞）の取得 □青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得 □障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.5%の達成（従業員 40 人未満の場合は障害者を 1 人以上雇用している） □健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得、又は、横浜健康経営認証の AAA クラス若しくは AA クラスの認証		6			
評点の合計（86 点満点）						

2 評価方法

(1) 提案者の業務実施体制、提案内容及びヒアリングは、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。

(2) 評価点について、次のように配点を行う。

ア 提案者の業務実施体制、提案内容及びヒアリングは、それぞれの配点に、換算した評価（ $A = 5/5$ 、 $B = 4/5$ 、 $C = 3/5$ 、 $D = 2/5$ 、 $E = 1/5$ とする。）を乗じて算出する。

表1においては、下記のとおり。

評価がAであれば評価点は $10 \times 5/5 = 10$ 点

評価がBであれば評価点は $10 \times 4/5 = 8$ 点

評価がCであれば評価点は $10 \times 3/5 = 6$ 点

評価がDであれば評価点は $10 \times 2/5 = 4$ 点

評価がEであれば評価点は $10 \times 1/5 = 2$ 点

イ ワーク・ライフ・バランスに関する取組の評価については、表1の「評価の着目点」に記載した項目について1つ満たすごとに1点を加算する。

(3) 評価が同点となった場合は、評価委員会に出席した委員の多数決で決し、票数が同数の場合は、委員長の決するところによる。

(4) D、E評価のあるものは、原則として選定しない。

表 2 評価の視点

評価項目	評価の着目点		評価				
			A	B	C	D	E
業務実施体制	業務実施体制が整っているか		十分整っている	整っている	どちらともいえない	あまり整っていない	整っていない
提案内容	ア 発信内容について	業務内容を的確に理解しているか	的確に理解している	理解している	どちらともいえない	あまり理解していない	理解していない
		実現性の高い提案であるか	実現性が特に高い	実現性がある	どちらともいえない	実現性が低い	実現性がない
		専門知識や独自の発想・視点を持った提案か	専門知識や独自の発想・視点を持った、優れた提案である	専門知識や独自の発想・視点を持った提案である	どちらともいえない	専門知識や独自の発想・視点やや乏しい提案である	専門知識や独自の発想・視点乏しい提案である
	イ 効果的な展示手法について	業務内容を的確に理解しているか	的確に理解している	理解している	どちらともいえない	あまり理解していない	理解していない
		実現性の高い提案であるか	実現性が特に高い	実現性がある	どちらともいえない	実現性が低い	実現性がない
		専門知識や独自の発想・視点を持った提案か	専門知識や独自の発想・視点を持った、優れた提案である	専門知識や独自の発想・視点を持った提案である	どちらともいえない	専門知識や独自の発想・視点やや乏しい提案である	専門知識や独自の発想・視点乏しい提案である
ヒアリング	取組意欲の感じられる提案であるか		強い意欲が認められる	意欲が認められる	どちらともいえない	あまり意欲が認められない	意欲が認められない
ワーク・ライフ・バランスに関する取組	表1の「評価の着目点」に記載した項目を満たしているか		項目について1つ満たすごとに1点を加算する				